

会報 No.338



キャリア・コンサルタント

2024年（令和6年）6月号

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：福田 秀樹

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3

小川町北ビル 8F

TEL：03-3256-4167（代表）

直通電話：コンサルティング事業部 03-6826-5875

：外国人材受入事業部 03-6826-7789

FAX：03-3256-4168

E-mail：[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[コンサルティング部] eigyo@ccco.jp

URL：<https://ccco.tokyo>

編集長：山本 奈美

編集者：大野 長壽 ・ 中野 忠

バックナンバー：

<https://ccco.tokyo/kaihoh>

1. 新理事長ご挨拶

「今後のCCCKの方向性について」

理事長 福田 秀樹

2. 第29期決算について

事務局 宮坂 武彦

3. 事務局だより

事務局

一粒万倍

1. 今後のCCKの方向性について

理事長 福田 秀樹

昨年創立 30 周年を無事迎えることができました。今期はこれからの 30 年を見据え、次の世代にスムーズに引継ぎができるよう、偏らずバランスの取れた組織作りを進めてまいります。そのためには組織内のデジタル化、新規ビジネスの創出等、内部環境を組合員の総意で整えていきたいと考えております。

設立当初の意志を引き継ぎつつも過去にとらわれず、政府や自治体の動向や消費者の関心、またデジタル技術の進歩等、外部環境の変化を適切にとらえ、ひとつひとつ出来るところから対応してまいります。

とくに昨今の円安基調は、中小企業にとってのチャンスと捉え、以下の項目に注力してまいります。

1. ホームページの見直し

ホームページを戦略的な販促ツールとして活用できるよう、組合員の専門性が分かる可視化を進めます。また全国をビジネス領域として捉え、それぞれの地域支援に取り組めるよう準備してまいります。

2. CCKと外部ネットワークの連携

現在の組合員のメンバーのみでは限りのある案件に対しても、外部機関との連携を密にして解決を図れるように体制整備を進めます。

3. 事業の立ち上げ

新規顧客開拓や組合員の増員を目的とし、セミナー事業を CCK の新たなビジネスの柱となるよう準備してまいります。

その他、新たなビジネスの創出を進めます。

組合員の皆様のご協力があるからこそ成り立つ組織ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

以上

2. 第 29 期決算について

事務局 宮坂 武彦

第 29 期の決算については、期中(23.10 月)に消費税におけるインボイス制度が導入され、適格事業者(*1)と非適格事業者(*1)とでは控除できる消費税率が異なることから、消費税の会計処理を税込処理から税抜処理に変更した。

また、第 29 期初めから部門別損益を測定する必要から、会計ソフトを「経理自慢 DX」から「PCA 会計 DX」へバージョンアップし、本部事務局、外国人材受入事業部及びコンサルティング事業部の損益と資産負債を分割して入出力を実施することとした。

本部にあっては、貸机契約の減少があったものの新たに貯蔵機器等の保管取引が生じたことなどで会費等を含む売上収入が微増したが、出資口数の多い者の脱退があり出資金は減少した。

外材事業にあっては、諸般の事情から技能実習生の新規受入を停止する企業があり大幅に在籍実習生が減少し、売上高の減少となり、厳しい状況になった。これらを背景に、ケアテクス名古屋に出展し、主として介護事業者向けに技能実習や特定技能の受け入れをアピールした。

コンサルティング事業部では、入札案件の小型化や継続案件の取りこぼしなどにより、減収幅が大きくなった。新たな取引先の開拓や経験したことがないコンサルティング業務の取り込みなど一定の成果があった。

組合全体では、売上高が前年度比 19.0%減の 76 百万円、営業利益がマイナスであったが、税引後当期純利益は前期比倍増の 1 百万円となった。

会計処理の変更としては、能登半島地震により倒産又は廃業を余儀なくされた実習実施者があり、新たな実習先を探さざるを得なくなった実習生が生じたため、新たに「外材事業引当金」を設け引当計上をすることにやり、外国人材受入事業のリスクのヘッジをすることとした。

(*1) 所管の税務署に適格請求書発行事業者登録の申請を行い、税務署から登録番号の交付を受けた事業者を適格事業者といい、このような手続きを行っていない事業者を非適格事業者という。

以上

4. 事務局だより

●6月の行事予定

- 11日（火） 営担企画会議（13：00）
- 12日（水） 運営会議（10：30）
- 18日（火） 理事会（13：00）
- 25日（火） 営担企画会議（13：00）

●7月の行事予定

- 9日（火） 営担企画会議（13：00）
- 10日（水） 運営会議（10：30）
- 16日（火） 理事会（13：00）
- 23日（火） 営担企画会議（13：00）

●8月の行事予定

- 13日（火） 営担企画会議（13：00）
- 13日（火） 運営会議（10：30）
- 20日（火） 理事会（13：00） ※研修の集い
- 27日（火） 営担企画会議（13：00）
- ※夏休み4日（水）～16日（金）

●9月の行事予定

- 10日（火） 営担企画会議（13：00）
- 11日（水） 運営会議（10：30）
- 17日（火） 理事会（13：00）
- 24日（火） 営担企画会議（13：00）

事務局

一粒万倍

- ▼CCKの総会が5月28日に無事終了しました。役員改選が行われ理事監事が大幅に若返りました。私も後期高齢者になりリタイヤしました。私がCCKに入会したときは多くの年とった方がたくさんいて、若手の部類に入る優越感を感じていたのですが、もうそんな年月が過ぎ、あの時の年上の方の多くが故人になってしまっています。若返りのCCKの役員の方に今後のCCKの繁栄を託したいと思います。
- ▼「降る雪や明治は遠くなりけり」とは昭和6年に明治生まれの作家中村草田男が「降る雪に現実の時を忘れ今が明治時代であるかのような気持ちになっていたが、ふと現実に戻り明治は遠くなってしまった」としみじみ痛感して読んだ句だそうです。今年令和6年、同じく昭和も遠くなってしまったようです。明治といえば私の父親も明治生まれだったので身近に感じていたのですが、今年4月に明治生まれ最後の男性が亡くなり、明治生まれの男性がいなくなったそうです。現在日本最高齢の方は糸岡富子さんという女性の方で明治41年生まれとのこと。未だ明治生まれの方が健在なのは驚きですが、明治は遠くなったというより、もう歴史上の時代になってしまったのかも知れません。
- ▼先月行われた大相撲5月場所では新鋭の新小結大の里が優勝しました。将来の大関・横綱候補として期待されている若手有望力士です。新小結の優勝は昭和32年5月場所の安念山以来67年ぶりです。安念山はこの優勝ですぐにも大関になると期待されながら結局は関脇とまりで大成しない力士で終わりました。それに対して大の里は今場所スケールの大きい相撲を見せており今後大いに活躍されるものと期待しております。

編集後記：

引き続き皆様のご寄稿をお待ちしております。